

市民生活の現状および満足度についての アンケート調査報告書

平成 27 年 7 月 熊谷市総合政策部企画課

1 調査の趣旨

本市は現在、将来都市像「川と川 環境共生都市 熊谷」を目指し、総合振興計画に基づき、各施策に取り組んでいます。

総合振興計画は、基本構想（H20～H29）、基本計画（前期 H20～H24・後期 H25～H29）及び実施計画（毎年）で構成されています。

平成 26 年度は、後期基本計画 2 年目となります。基本構想に示された将来都市像の実現のため、後期基本計画の施策に堅実に取り組んでまいりました。

総合振興計画には、まちづくりの進み具合を測るための「ものさし」として「成果指標」を設定しており、この「成果指標」には、統計などの客観的なデータから把握する数値と、市民アンケートにより把握する数値があります。

このたび、市民アンケートにより把握する数値について、市民の皆さまにアンケートをお願いし、それぞれの施策の重要度、満足度をうかがいました。今後の熊谷市のまちづくりに活かすための資料として活用させていただきたいと思います。

2 調査の概要

平成 27 年 2 月中旬、18 歳以上の市民から無作為に抽出した 3,000 人にアンケート調査表を郵送し、返信用封筒による郵送で回収しました。

アンケートの回収数は 1,182 通、回収率は 39.4%でした。

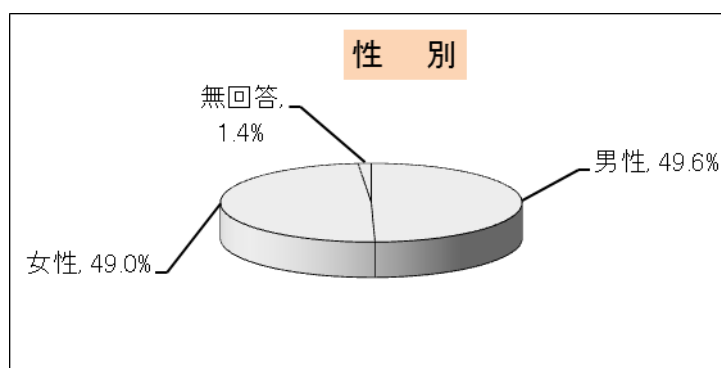
※注 1 割合を四捨五入して表示しているため合計が 100%にならない項目があります。

※注 2 表の数値及びグラフの単位の記載の無い数値は人数です。

3 回答者属性について

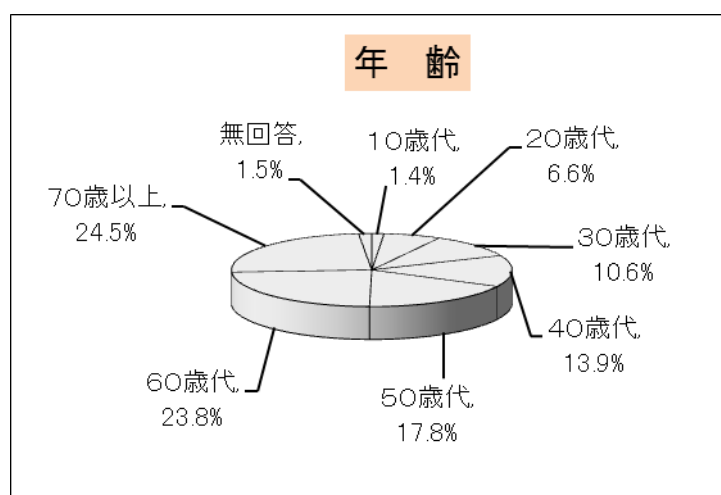
(1) 性別

男 性	586
女 性	579
無回答	17
合 計	1,182



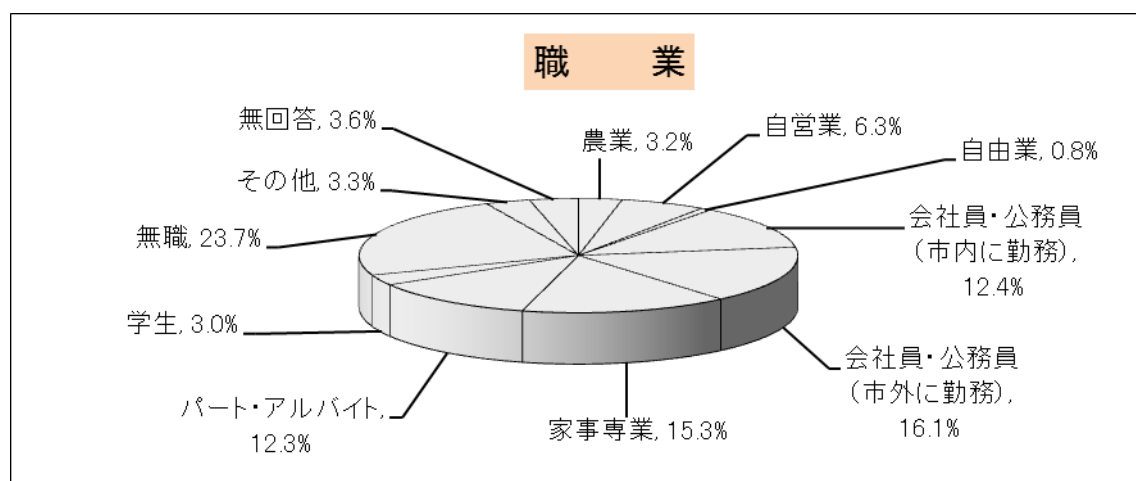
(2) 年齢

10歳代	16
20歳代	78
30歳代	125
40歳代	164
50歳代	210
60歳代	281
70歳以上	290
無回答	18
合 計	1,182



(3) 職業

農業	38	パート・アルバイト	145
自営業	74	学生	36
自由業	9	無職	280
会社員・公務員（市内に勤務）	147	その他	39
会社員・公務員（市外に勤務）	190	無回答	43
家事専業	181	合 計	1,182



(4) 居住地区

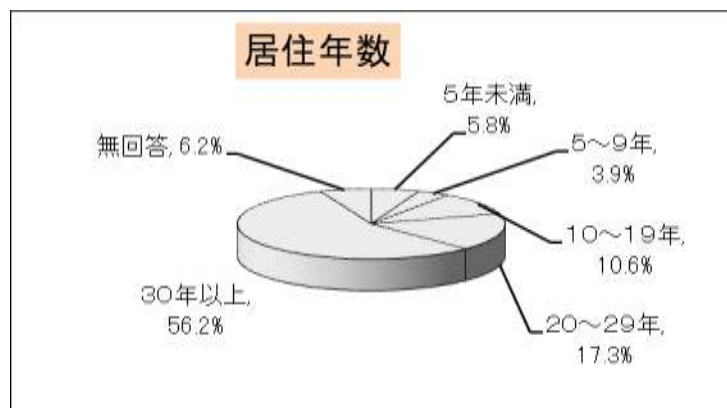
地 区	小学校区	回答数
中央地区Ⅰ	熊谷東・熊谷西小学校区	165
中央地区Ⅱ	熊谷南・石原・桜木小学校区	168
東部地区	成田・佐谷田・久下・星宮小学校区	149
西部地区Ⅰ	玉井・別府・新堀小学校区	107
西部地区Ⅱ	大麻生・三尻・籠原小学校区	116
北部地区	大幡・中条・奈良小学校区	110
吉岡地区	吉岡小学校区	43
大里地区	市田・吉見小学校区	38
妻沼地区	妻沼・男沼・太田・長井・秦・小島・妻沼南小学校区	143
江南地区	江南北・江南南小学校区	64
わからない		11
無回答		68



※この地図は、市内各小学校の校区で区分してあります。

(5) 熊谷市に住んでからの年数

5年未満	69
5～9年	46
10～19年	125
20～29年	205
30年以上	664
無回答	73
合計	1,182



4 アンケート集計結果

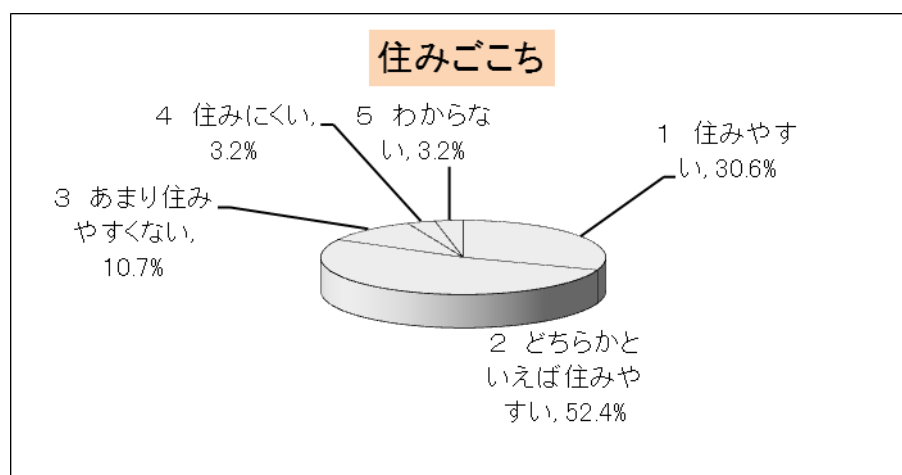
I 住みごこちや市政への関心についてうかがいます

概要

- ・「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」を合わせると 83.0%の人が住みやすく感じており、「続けて住みたい」と「できれば続けて住みたい」を合わせると 84.2%の方が続けて住みたいと考えています。
- ・続けて住みたいと思う理由は、「長年住みなれているから」(627 人、33.0%)、「生活環境がよいから」(283 人、14.9%) が続き、最も少ないのは「教育環境がよいから」(6 人、0.3%) でした。
- ・転居したい理由の上位に「交通の便が悪いから」、66 人、26.0%や「生活環境が悪いから」、42 人、16.5%が挙げられています。
- ・「市政に関心がある人」は 724 人、62.3%であり、市政に関心がある理由は、「自分の暮らしに直接関係があるから」とする理由が 464 人、63.4%となっています。
- ・「市政に関心がない人」のうち 235 人、50.2%は、「個人の意見が行政に反映されにくいと思うから」とする理由を挙げています。
- ・本市の行政運営に対して望むことは、「無駄の削減などの行政改革や健全な財政運営」を望む人が 841 人、25.3%と最も多くなっています。
- ・今後の行政サービスのあり方については、「行政サービスの水準は上げて欲しいが、負担が増えるなら現在と同じ程度でよい」とする意見が最も多く、次いで、「行政サービスの水準が多少低下しても、税などの市民負担は軽い方がよい」とする意見が多くなっています。

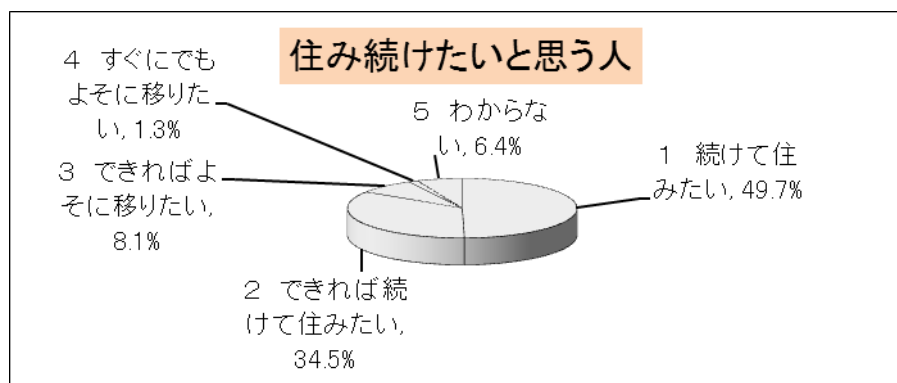
問1 熊谷市の住みごこちはどうですか。

1 住みやすい	357	4 住みにくい	37
2 どちらかといえば住みやすい	612	5 わからない	37
3 あまり住みやすくない	125		



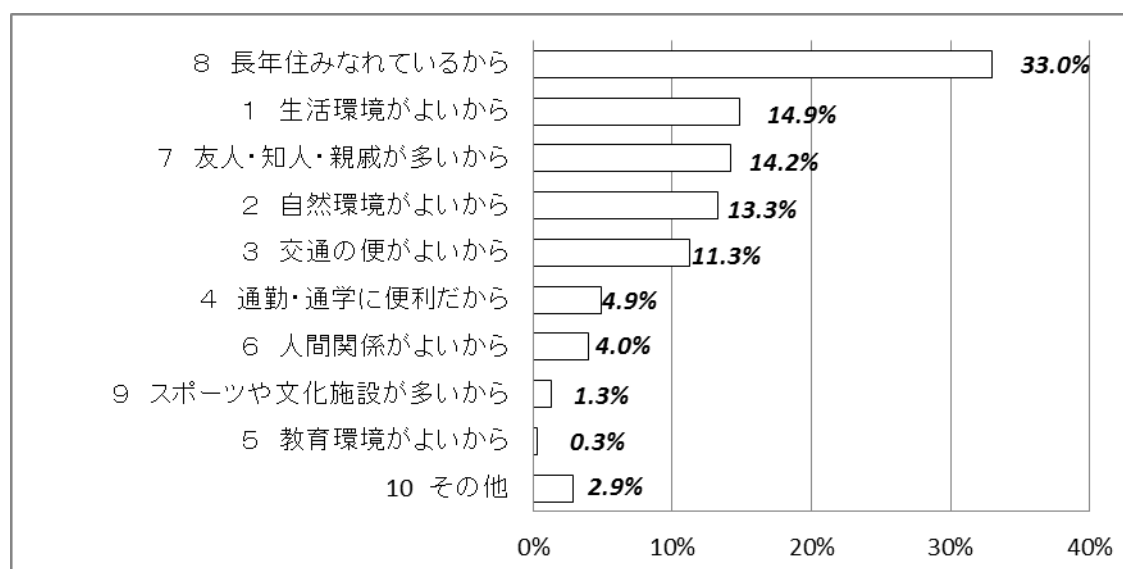
問2 あなたは、熊谷市にこれからも住み続けたいと思いますか。

1 続けて住みたい	581	4 すぐにでもよそに移りたい	15
2 できれば続けて住みたい	404	5 わからない	75
3 できればよそに移りたい	95		



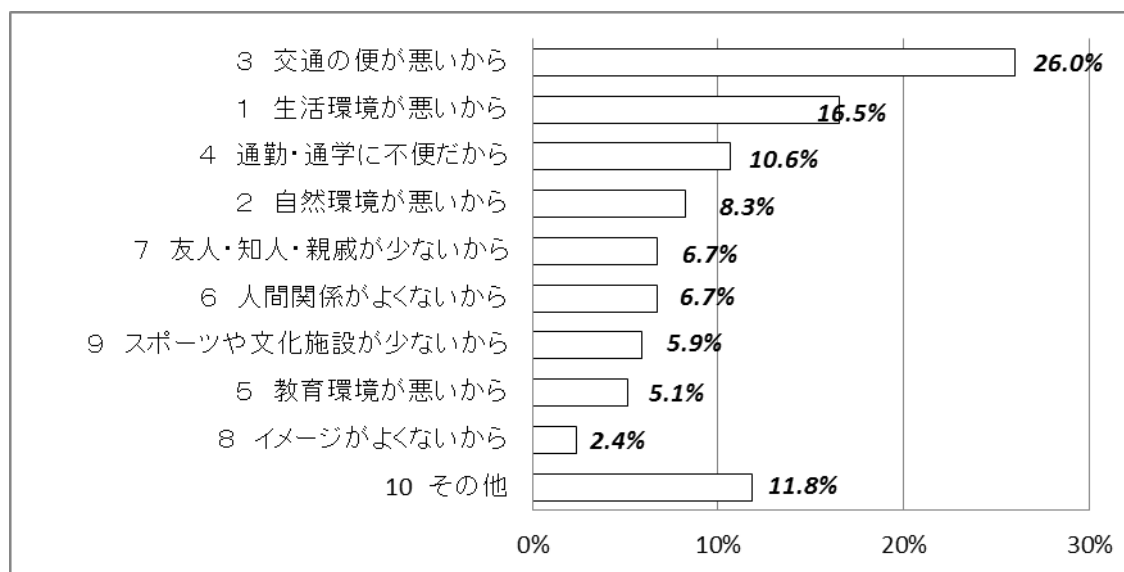
問2-1 続けて住みたいと思う理由は何ですか。2つまで選んでください。

1 生活環境がよいから	283	6 人間関係がよいから	76
2 自然環境がよいから	253	7 友人・知人・親戚が多いから	270
3 交通の便がよいから	214	8 長年住みなれているから	627
4 通勤・通学に便利だから	93	9 スポーツや文化施設が多いから	25
5 教育環境がよいから	6	10 その他	55



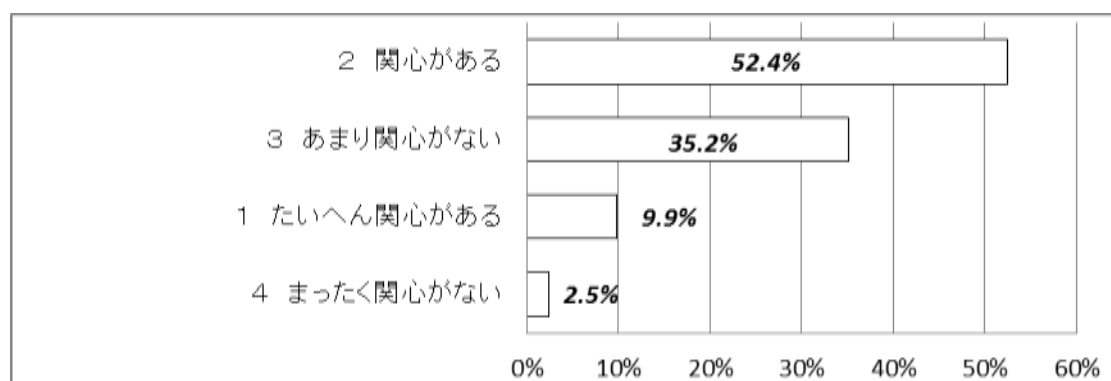
問 2－2 よそに移りたいと思う理由は何ですか。2つまで選んでください。

1 生活環境が悪いから	42	6 人間関係がよくないから	17
2 自然環境が悪いから	21	7 友人・知人・親戚が少ないから	17
3 交通の便が悪いから	66	8 イメージがよくないから	6
4 通勤・通学に不便だから	27	9 スポーツや文化施設が少ないから	15
5 教育環境が悪いから	13	10 その他	30



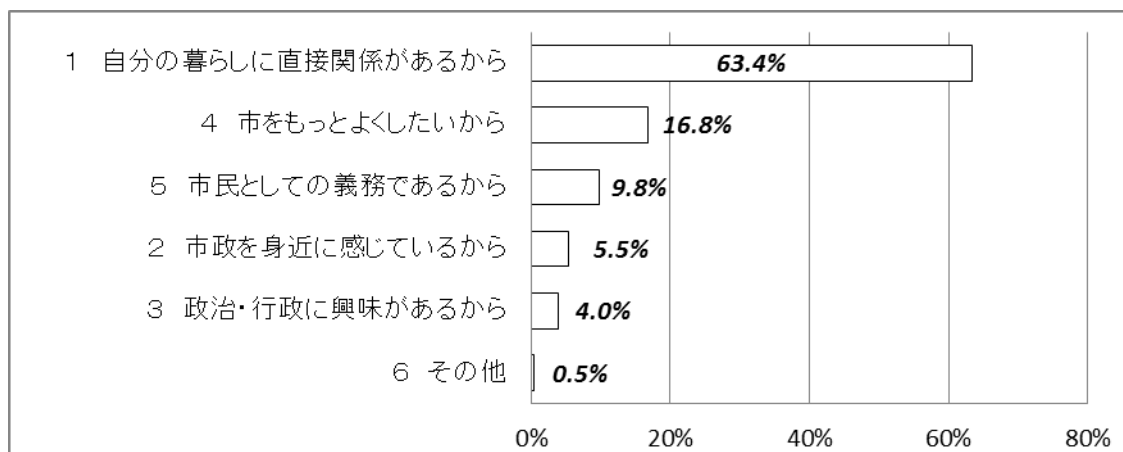
問 3 あなたは、市政について関心がありますか。1つ選んでください。

1 たいへん関心がある	115
2 関心がある	609
3 あまり関心がない	409
4 まったく関心がない	29



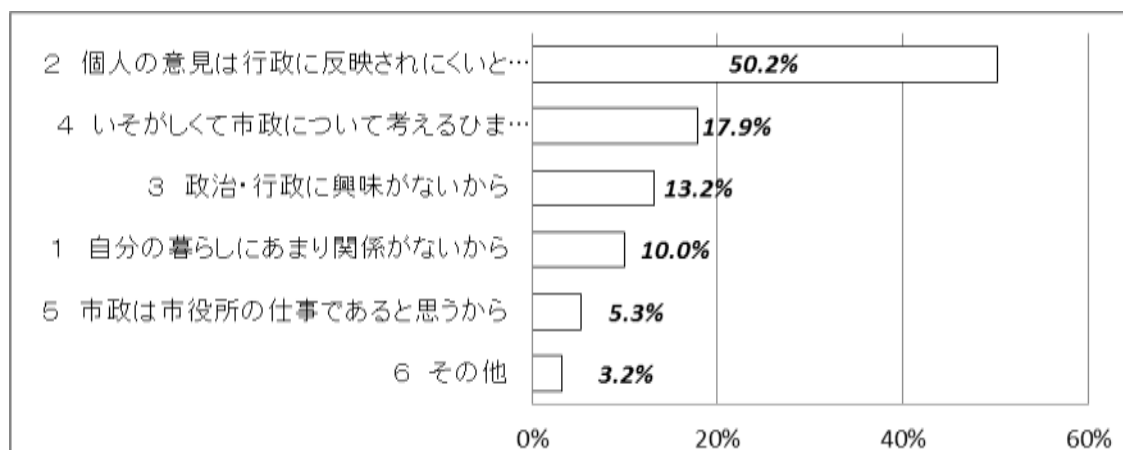
問3－1 市政に関心があるのはどんな理由からですか。1つ選んでください。

1 自分の暮らしに直接関係があるから	464
2 市政を身近に感じているから	40
3 政治・行政に興味があるから	29
4 市をもっとよくしたいから	123
5 市民としての義務であるから	72
6 その他	4



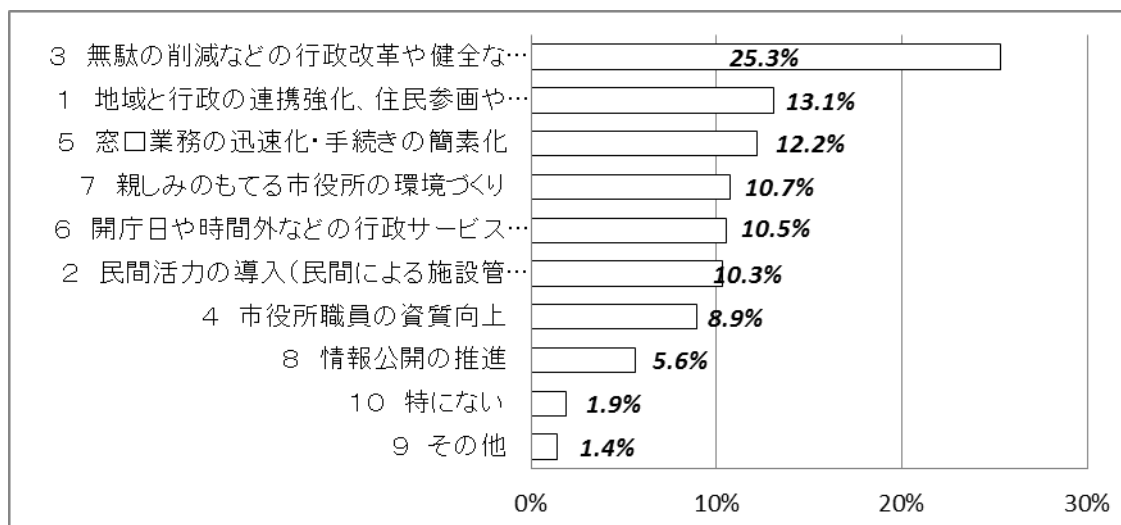
問3－2 市政に関心がないのはどんな理由からですか。1つ選んでください。

1 自分の暮らしにあまり関係がないから	47
2 個人の意見は行政に反映されにくいと思うから	235
3 政治・行政に興味がないから	62
4 いそがしくて市政について考えるひまがないから	84
5 市政は市役所の仕事であると思うから	25
6 その他	15



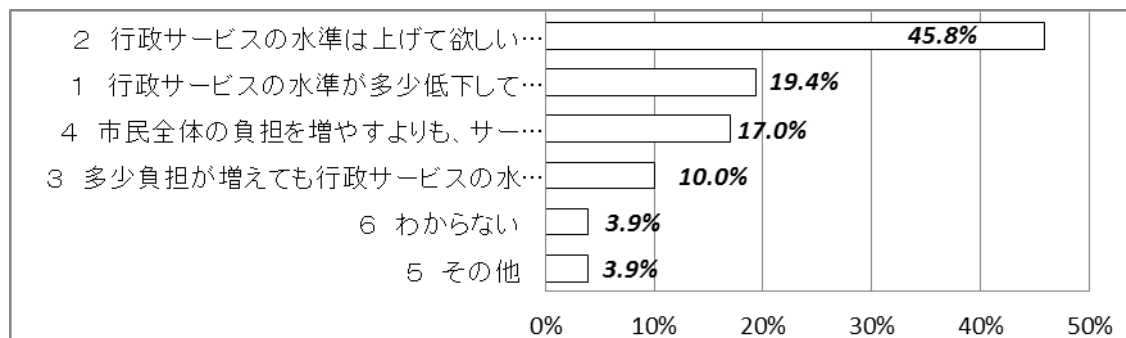
問4 あなたは、熊谷市の行政運営に対して特にどのようなことを望みますか。3つ選んでください。

1 地域と行政の連携強化、住民参画や協働の推進	435	6 開庁日や時間外などの行政サービスの対応	348
2 民間活力の導入（民間による施設管理など）	342	7 親しみのもてる市役所の環境づくり	357
3 無駄の削減などの行政改革や健全な行政運営	841	8 情報公開の推進	187
4 市役所職員の資質向上	295	9 その他	48
5 窓口業務の迅速化・手続きの簡素化	407	10 特にない	64



問5 今後の行政サービスのあり方について、あなたの意見に近いものはどれですか。

1 行政サービスの水準が多少低下しても、税などの市民負担は軽い方がよい	223	4 市民全体の負担を増やすよりも、サービス利用者の負担を増やしたほうがよい	195
2 行政サービスの水準は上げて欲しいが、負担が増えるなら現在と同じ程度でよい	527	5 その他	45
3 多少負担が増えても行政サービスの水準を上げて欲しい	115	6 わからない	45



問6 熊谷の宝として全国に発信できるものは、どのようなものがありますか。1つ記入してください。

集計表（複数回答があったもの）

No.	内容	人数	No.	内容	人数
1	歓喜院聖天堂	142	19	熊谷寺	8
2	うちわ祭	112	20	人	8
3	暑さ	36	21	雪くま	7
4	災害が少ない	34	22	スポーツ環境	7
5	五家宝	29	23	晴天	7
6	桜・桜堤	24	24	熊谷染	7
7	熊谷次郎直実	20	25	熊谷花火大会	6
8	熊谷スポーツ文化公園	19	26	生活環境	5
9	ムサシミヨ	19	27	交通利便性	5
10	あついぞ！熊谷	16	28	荻野吟子	4
11	暑さ対策	16	29	熊谷うどん	3
12	荒川・利根川	15	30	食べ物・グルメ	3
13	ラグビー	13	31	歴史	3
14	自然	12	32	グライダー	3
15	水	10	33	ニャオざね	2
16	祭り	10	34	安全	2
17	農産物	9	35	金子兜太先生	2
18	米・小麦	9	36	子育て支援策	2

Ⅱ 市民生活についておたずねします（経年比較結果）

（単位：％）

肯定（「はい」）の割合	平成 24 年 度	平成 25 年 度	平成 26 年 度	後期目標 値
「ミニくま」を知っている	40.0	34.9	33.9	70
「雪くま」を知っている	89.2	89.0	90.4	95
校区連絡会や自治会などが行う地域コミュニティ活動に参加している	48.8	50.6	49.1	50
人権尊重の意識が向上している	55.5	54.8	59.3	60
男女共同参画が進んでいる	40.9	40.6	39.1	55
地域防災計画を知っている	38.1	37.7	37.6	50
避難すべき避難場所を知っている	86.1	85.6	86.1	100
子育てがしやすいと思う	52.6	55.0	58.2	70
自分自身が健康である	75.9	74.5	76.3	80
自然環境を大切にする活動に参加している	18.6	16.4	15.7	40
熊谷市は星がよく見え、空がきれい だ	63.9	65.9	67.3	80
マイバッグを利用している	56.3	58.6	62.0	65
省エネ活動や、ごみの分別・減量を 実践している	92.3	89.3	91.0	97
熊谷駅周辺がにぎやかだと思う	30.1	32.4	31.6	40
熊谷の景観を美しいと思う	49.4	47.9	48.5	52
ユニバーサルデザインのまちづくり が進んでいる	15.1	14.9	15.2	50

肯定(「はい」)の割合	平成 24 年 度	平成 25 年 度	平成 26 年 度	後期目標 値
生活道路に満足している	47.5	48.0	48.4	50
公共交通に満足している	44.2	45.8	49.5	55
水道水のおいしさに満足している	62.4	60.7	61.6	65
ノーマライゼーションについて理解している	64.3	62.9	65.1	80
定期的にスポーツに親しんでいる	37.6	31.3	34.9	55
「市報くまがや」の読みやすさに満足している	72.3	69.9	69.1	80
市の施設が利用しやすいと思う	51.7	51.5	51.5	70
自治基本条例を制定していることを知っている	22.8	14.3	15.8	—
パブリックコメントなどが行われていることを知っている	13.6	10.7	13.2	—
自宅周辺の緑について満足している	—	—	63.4	—

平成 24 年度からの調査結果の推移を見ますと、着実に数値が伸びている項目として、「子育てがしやすいと思う」、「熊谷市は星がよく見え、空がきれいだ」、「マイバッグを利用している」、「生活道路に満足している」、「公共交通に満足している」などが挙げられます。

一方、数値が減少している項目として、「ミニくまを知っている」、「男女共同参画が進んでいる」、「地域防災計画を知っている」、「自然環境を大切にする活動に参加している」、「市報くまがやの読みやすさに満足している」などが挙げられます。

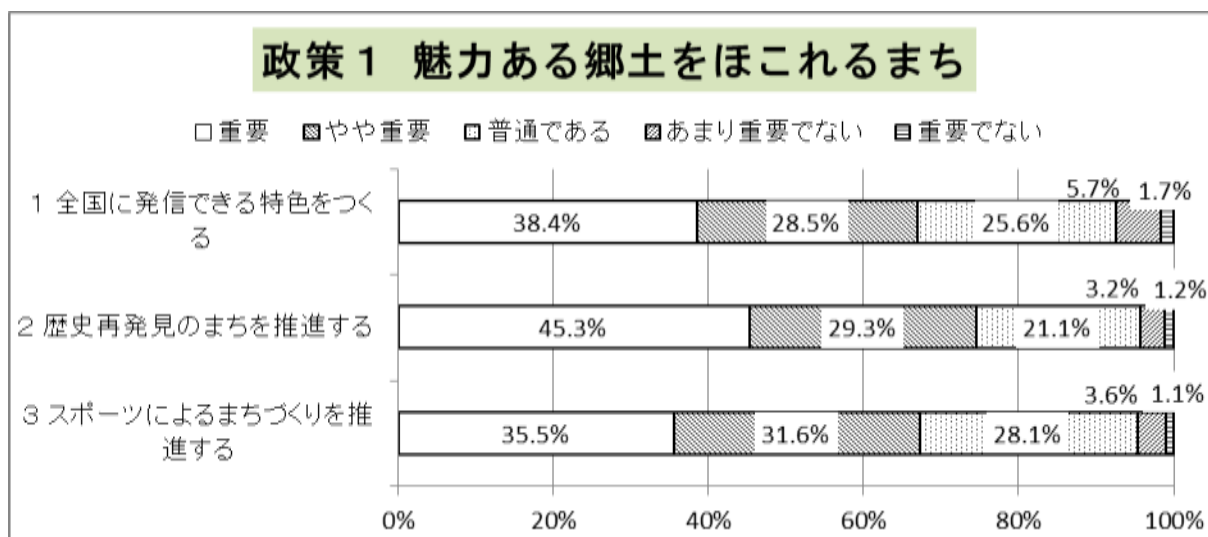
Ⅲ 施策の重要度、満足度についてうかがいます

(1) 施策重要度

市が取り組む施策とリーディング・プロジェクトについて、分野別に各施策の重要度をみたのが次のグラフです。

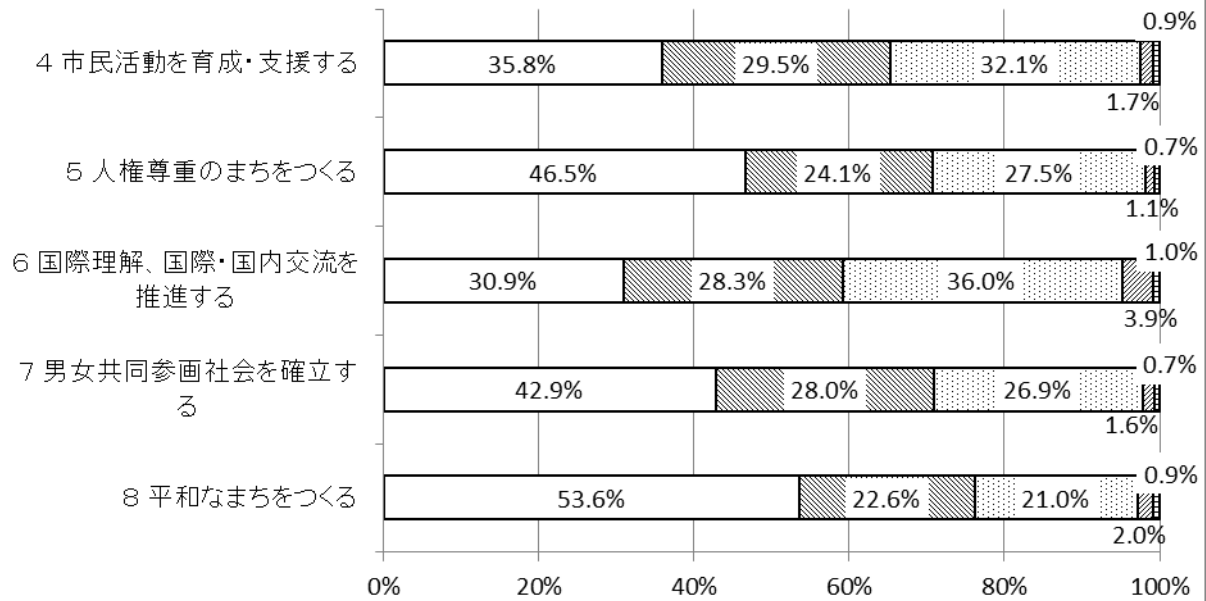
重要度が高いとされた施策は、「19 医療体制を充実する」、「9 犯罪の起こらない環境を整備する」、「10 災害に強いまちをつくる」、「11 交通事故の減少・防止を図る」、「16 楽しく子育てできる環境をつくる」の順となっています。

一方、重要度が低いとされた施策は、「スポーツ・文化村整備プロジェクト」、「37 安心して暮らせる市営住宅を整備する」、「43 芸術・文化活動を支援する」、「あっぱれ！熊谷流プロジェクト」、「42 魅力ある生涯学習事業、施設を拡充・整備する」の順となっています。



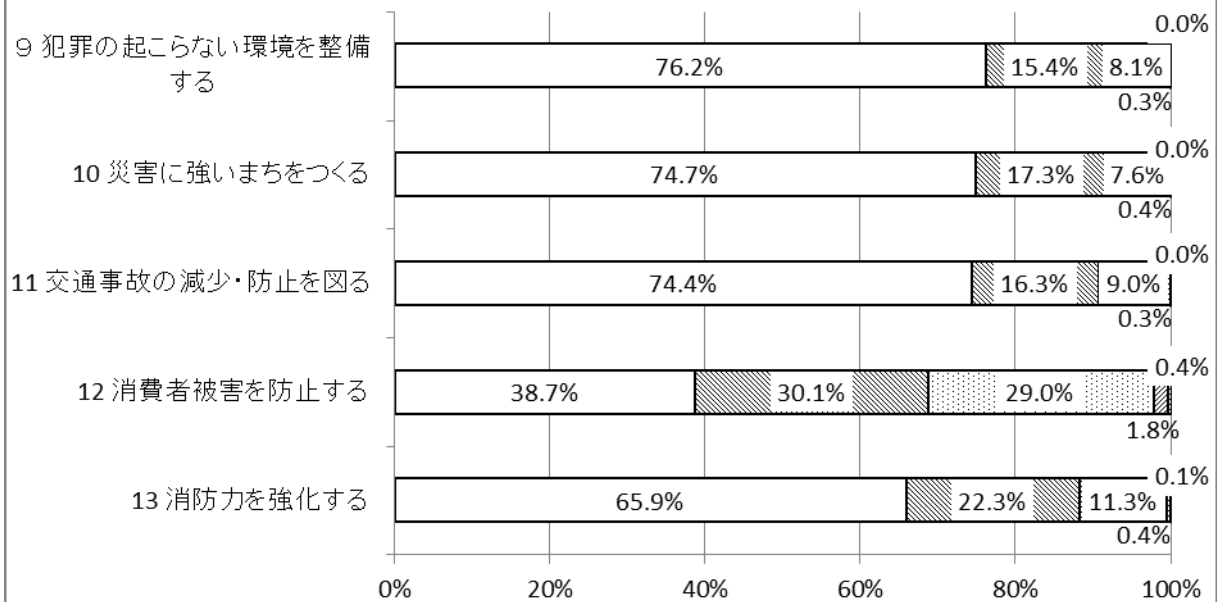
政策２ 市民と行政が協働するまち

□重要 ■やや重要 □普通である ■あまり重要でない □重要でない



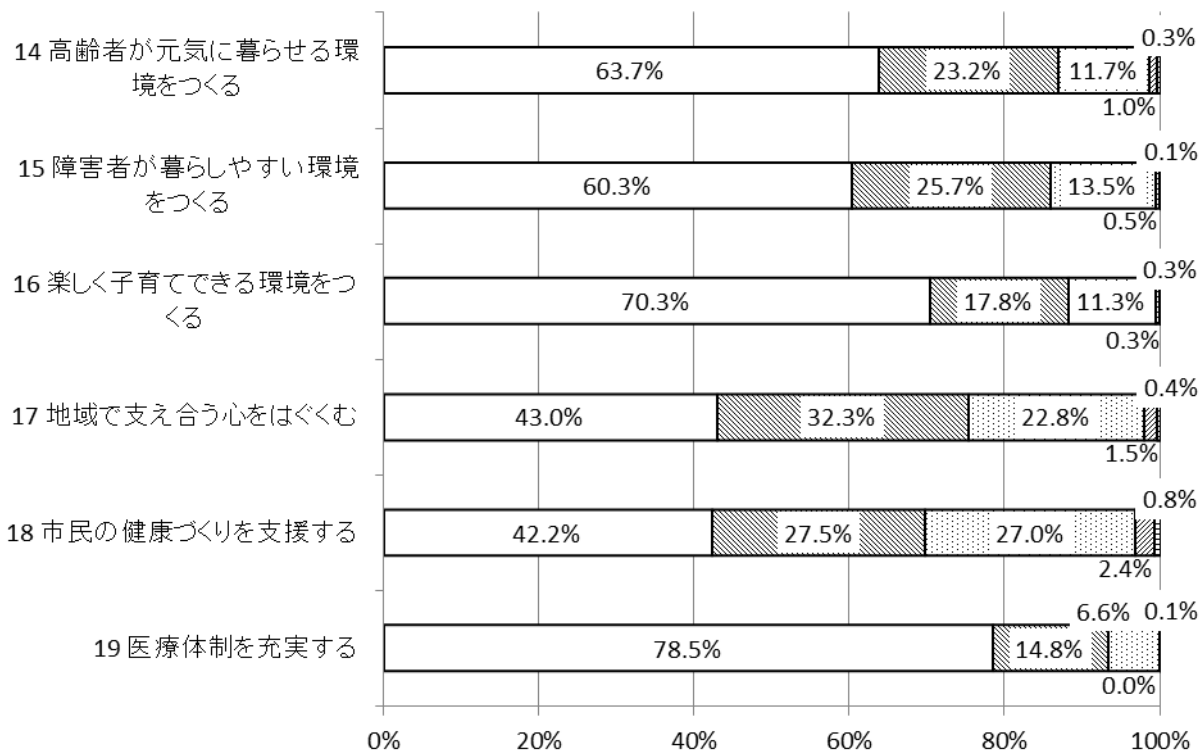
政策３ みんなで創る安全なまち

□重要 ■やや重要 □普通である ■あまり重要でない □重要でない



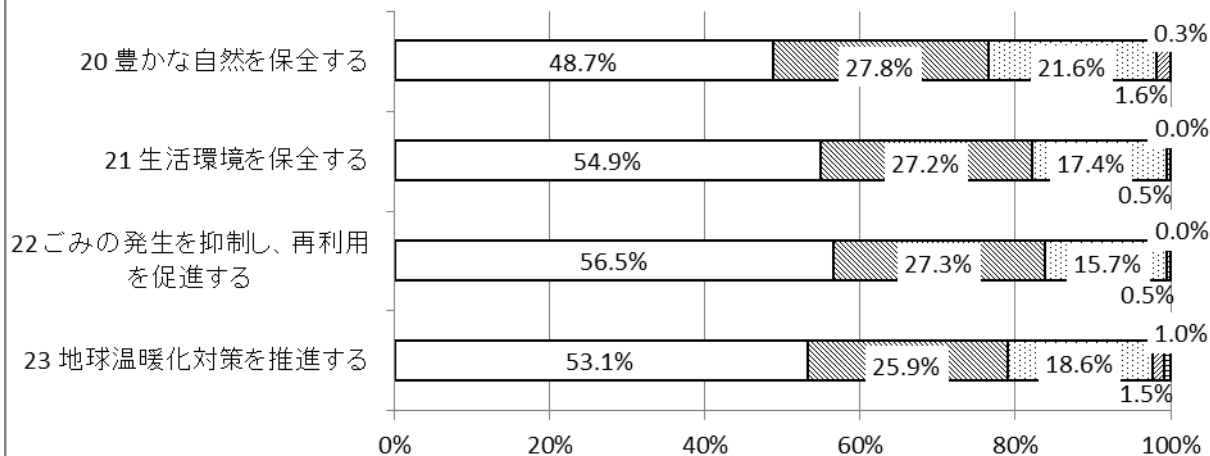
政策4 だれもが安心して健康に暮らせるまち

□重要 ■やや重要 □普通である ■あまり重要でない □重要でない



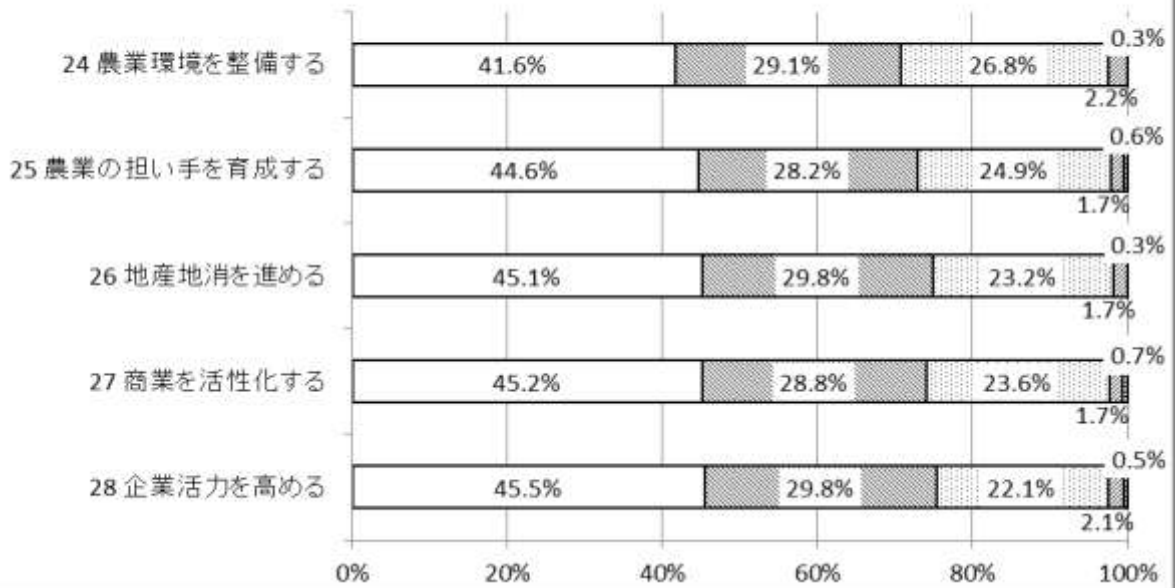
政策5 自然の豊かさがあふれるまち

□重要 ■やや重要 □普通である ■あまり重要でない □重要でない



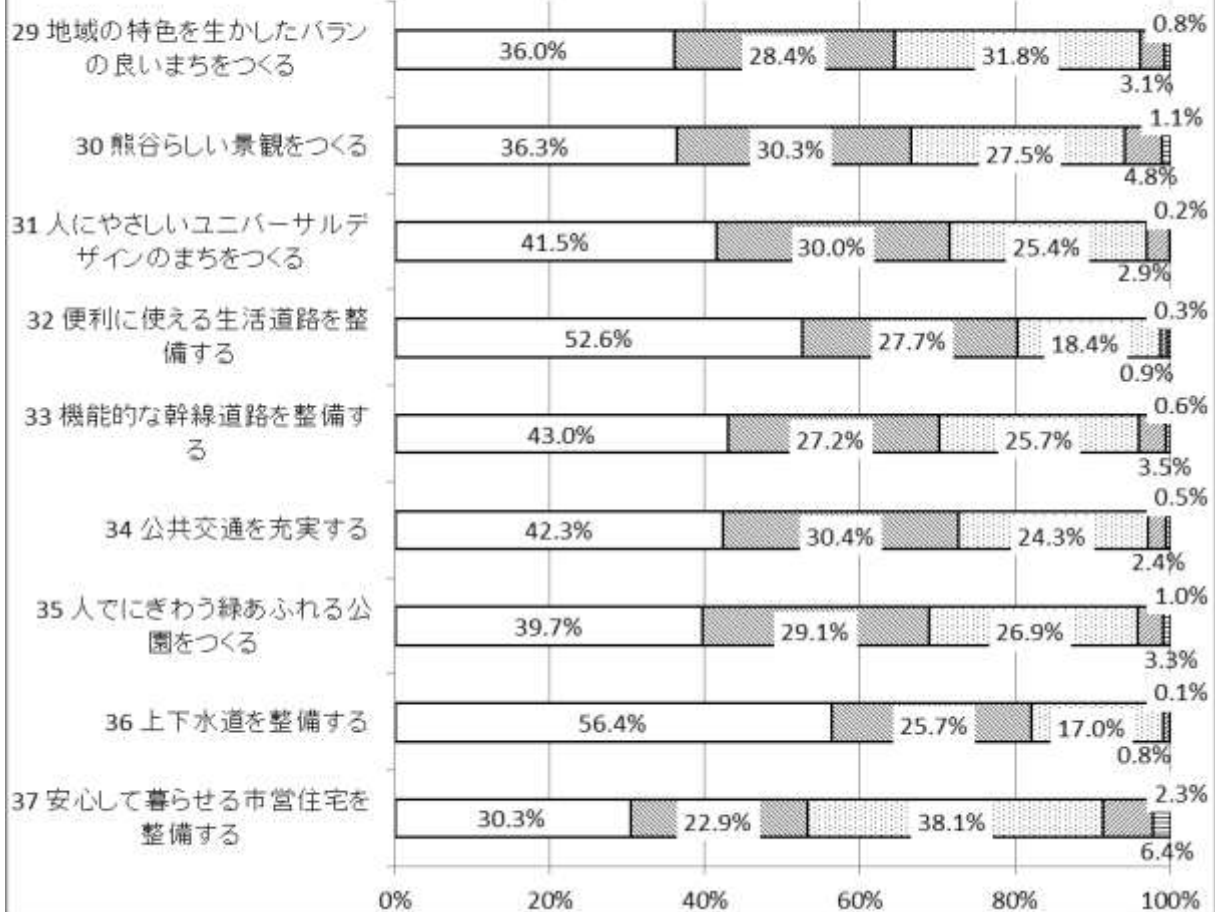
政策6 活力ある産業が育つまち

□重要 ■やや重要 □普通である ■あまり重要でない □重要でない



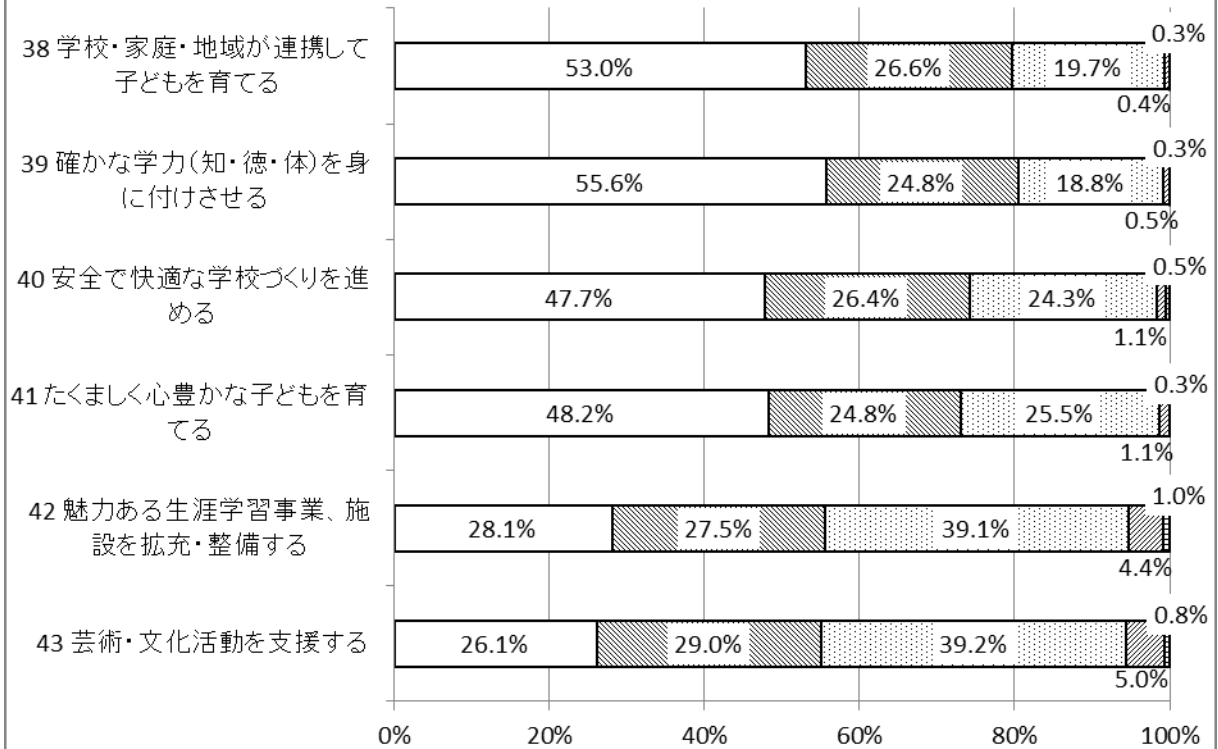
政策7 便利で快適なひとにやさしいまち

□重要 ■やや重要 □普通である ■あまり重要でない □重要でない



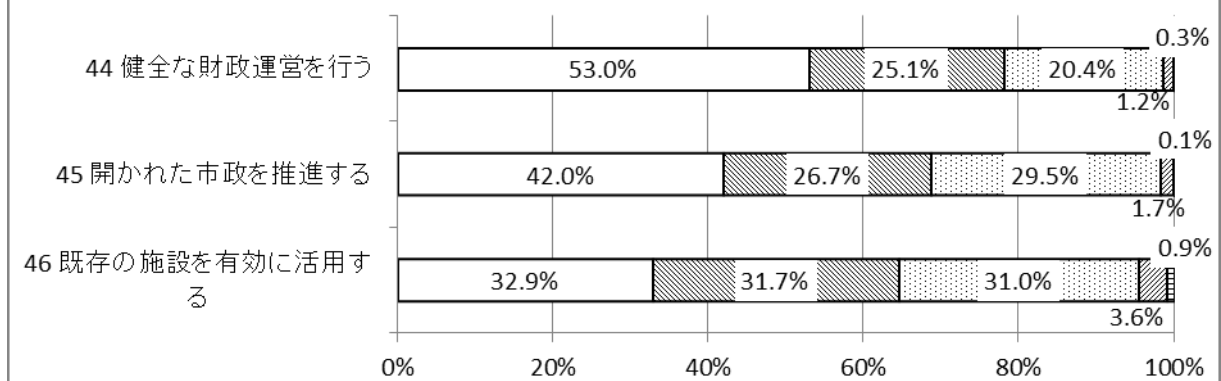
政策８ 地域に根ざした教育・文化のまち

□重要 ■やや重要 □普通である ■あまり重要でない □重要でない

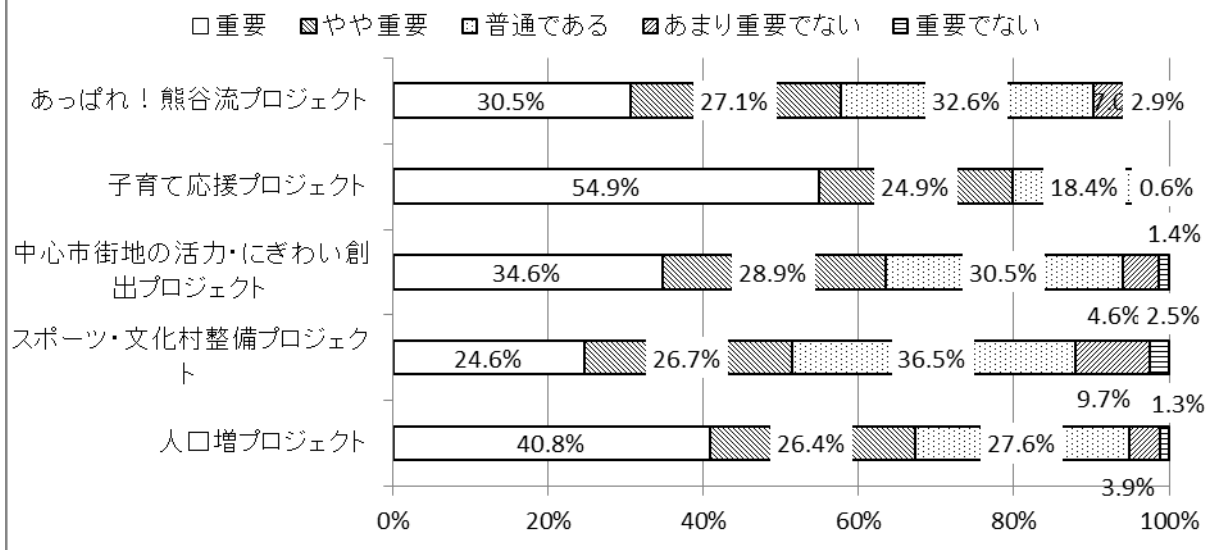


政策９ 効率的でわかりやすい行財政

□重要 ■やや重要 □普通である ■あまり重要でない □重要でない



リーディング・プロジェクト

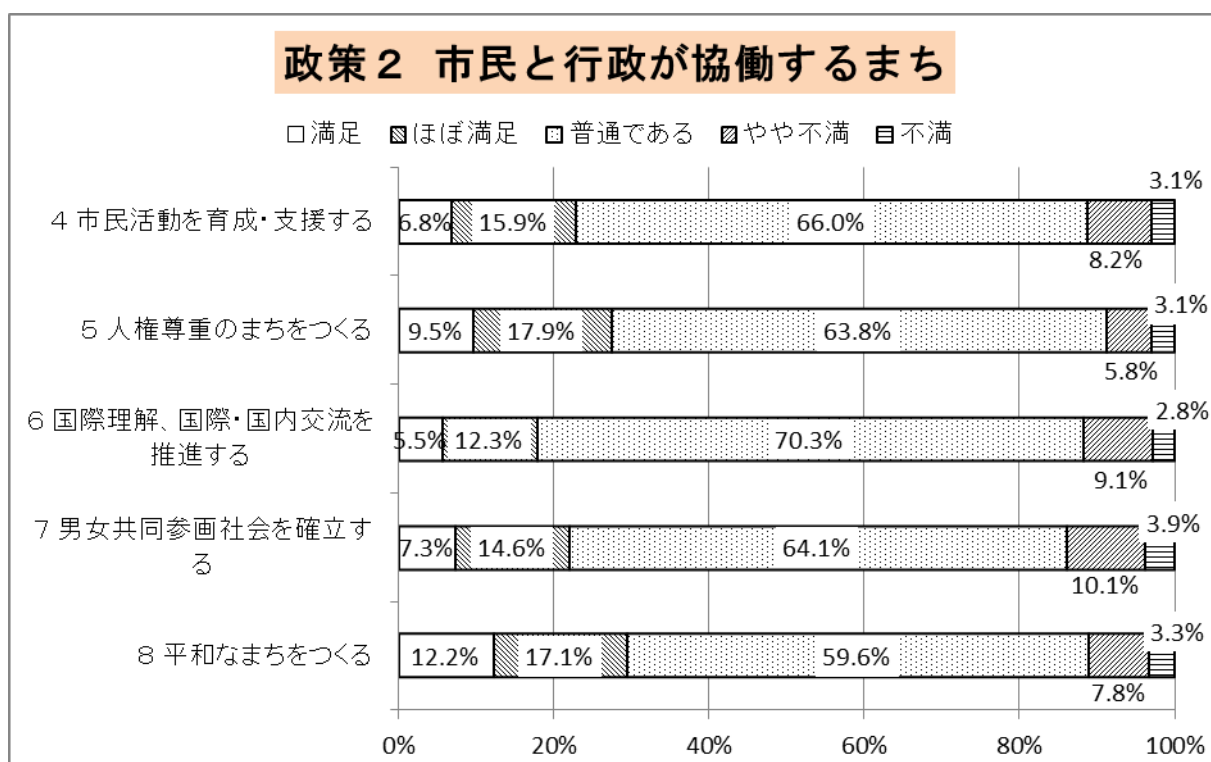
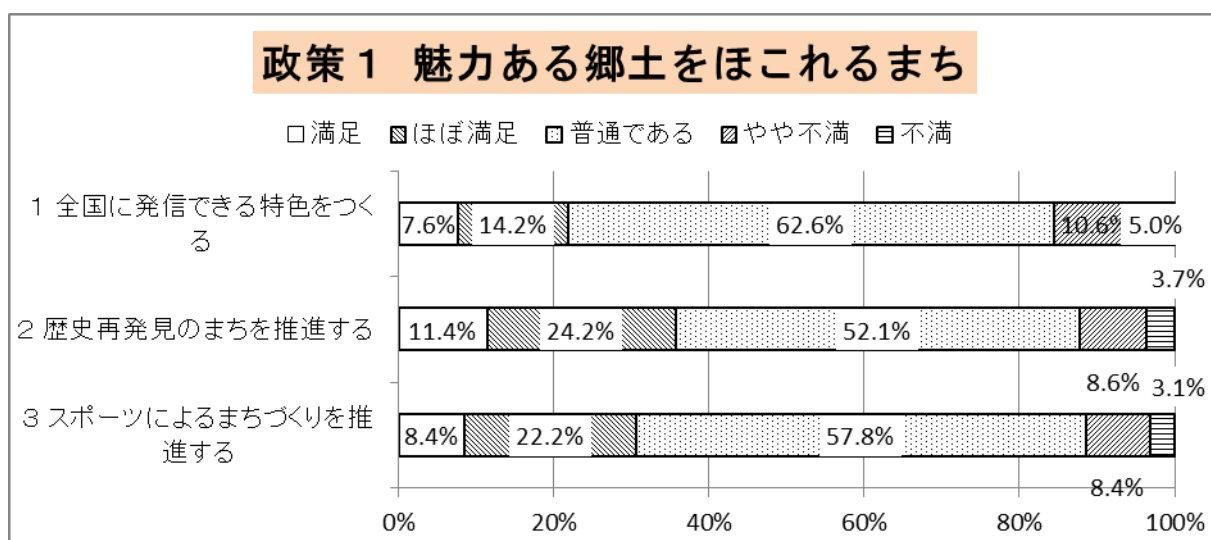


(2) 施策満足度

市が取り組む施策とリーディング・プロジェクトについて、分野別に各施策の満足度をみたのが次のグラフです。

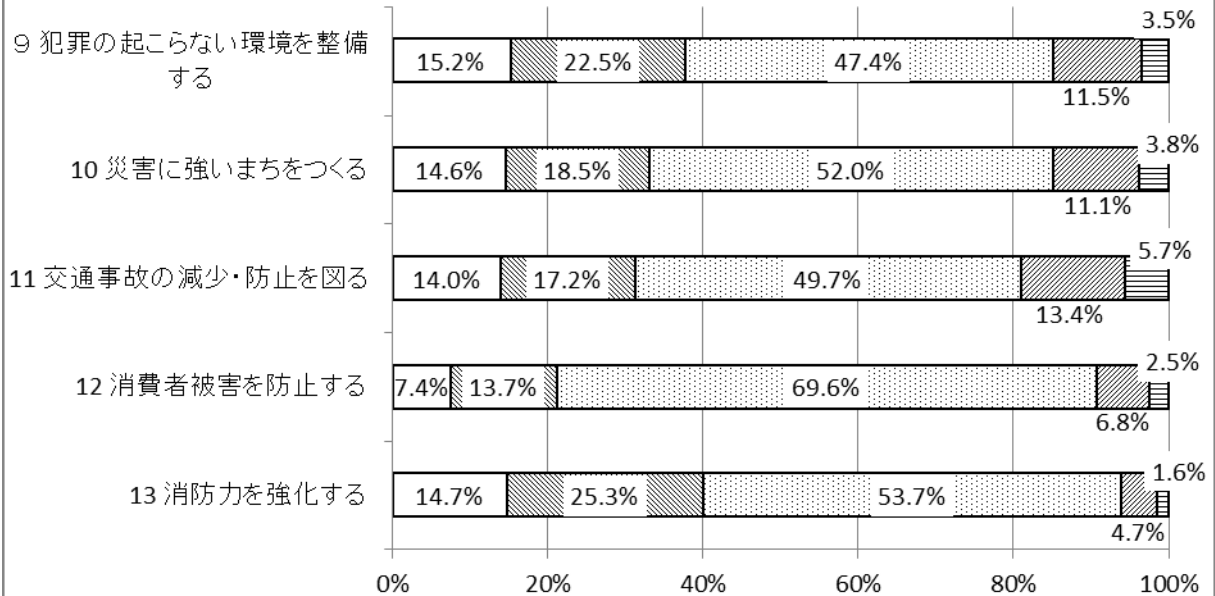
満足度が高いとされた施策は、「13 消防力を強化する」、「9 犯罪の起こらない環境を整備する」、「2 歴史再発見のまちを推進する」、「10 災害に強いまちをつくる」、「22 ごみの発生を抑制し、再利用を促進する」の順となりました。

一方、満足度が低いとされた施策は、「27 商業を活性化する」、「中心市街地の活力・にぎわい創出プロジェクト」、「28 企業活力を高める」、「32 便利に使える生活道路を整備する」、「29 地域の特色を生かしたバランスの良いまちをつくる」の順となっています。



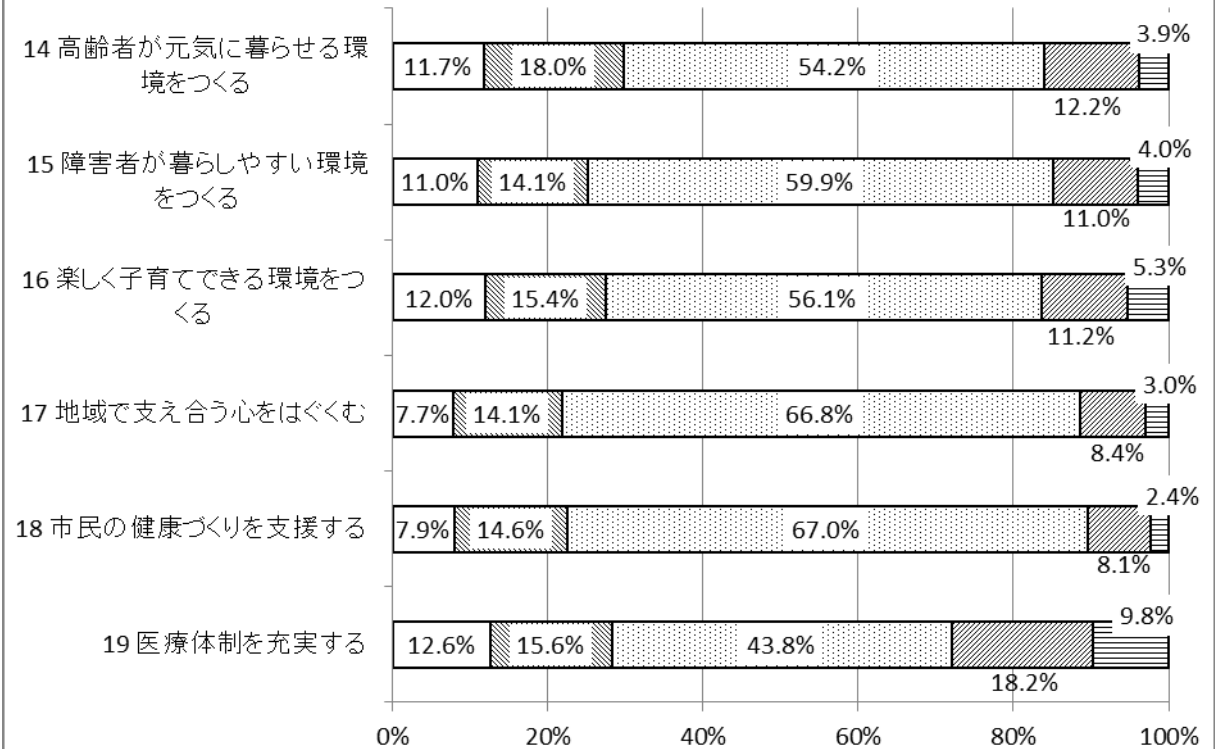
政策3 みんなで創る安全なまち

□満足 ■ほぼ満足 □普通である ■やや不満 □不満

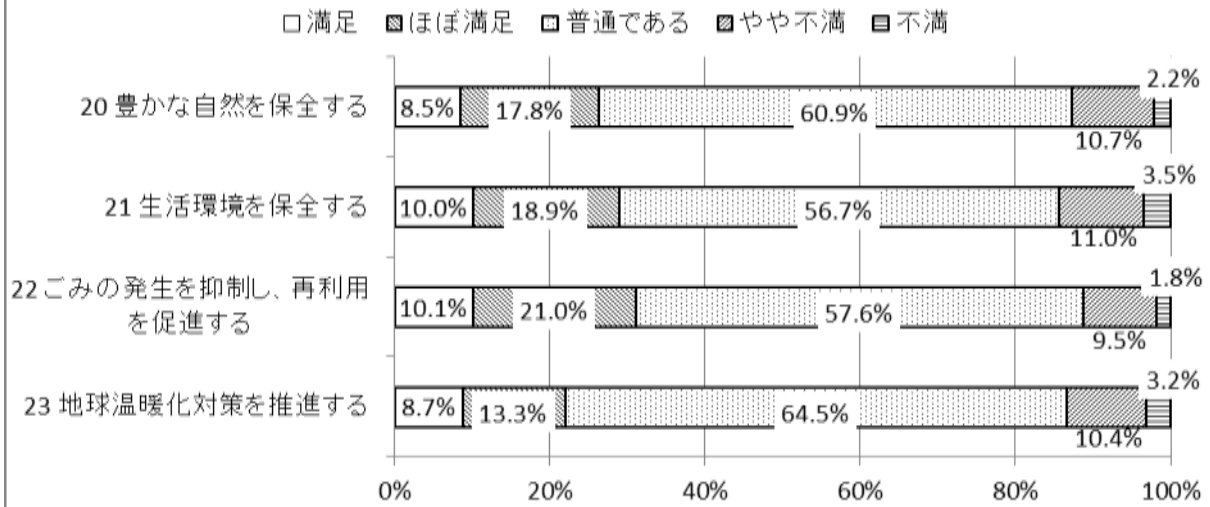


政策4 だれもが安心して健康に暮らせるまち

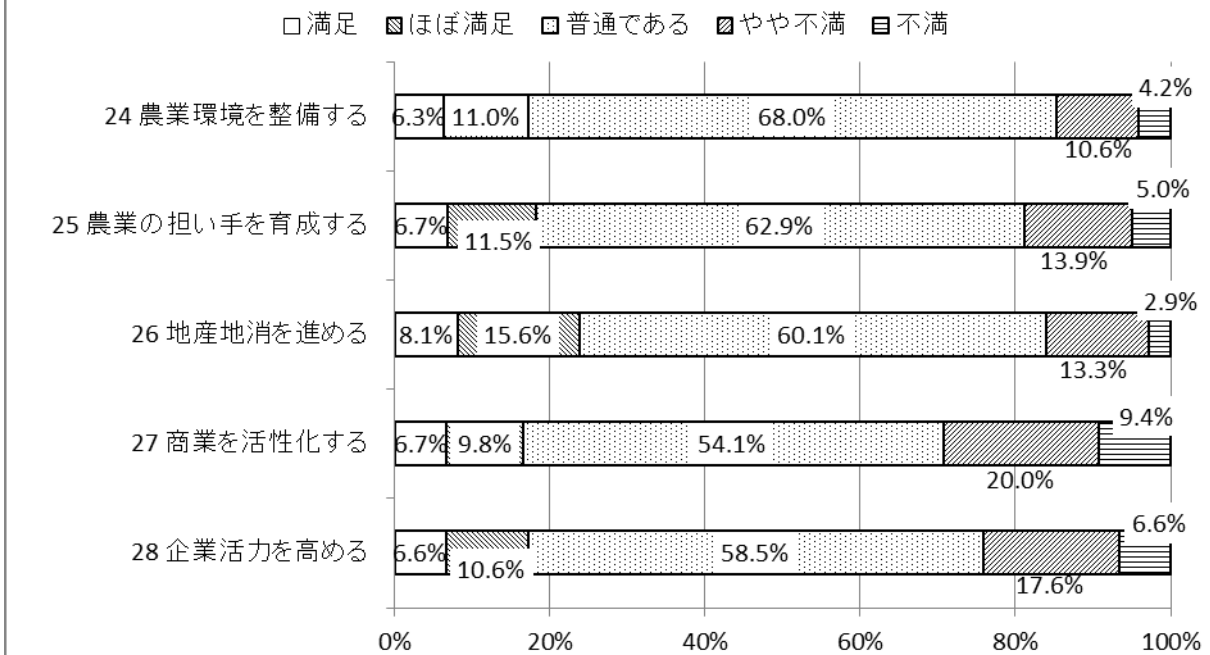
□満足 ■ほぼ満足 □普通である ■やや不満 □不満



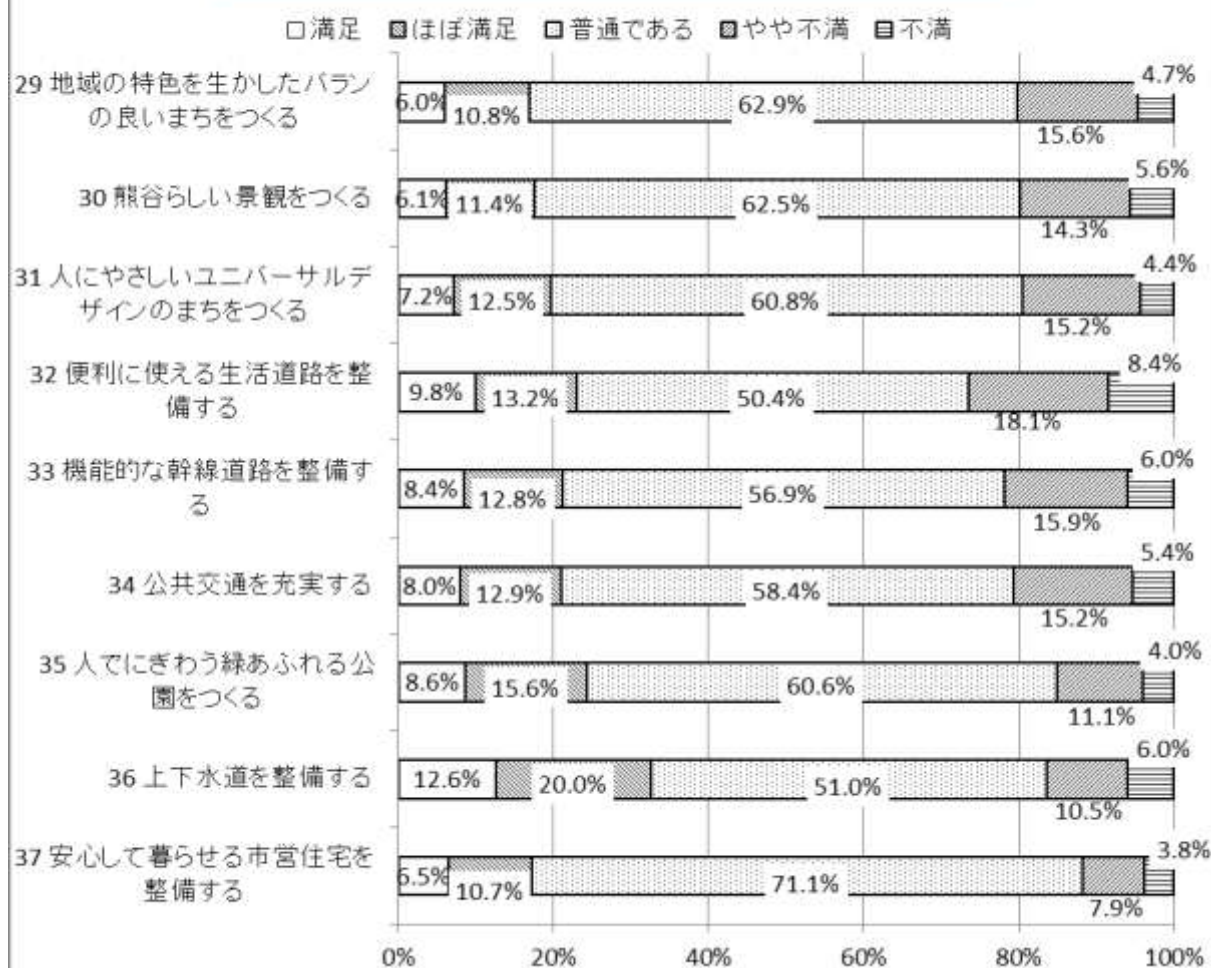
政策5 自然の豊かさがあふれるまち



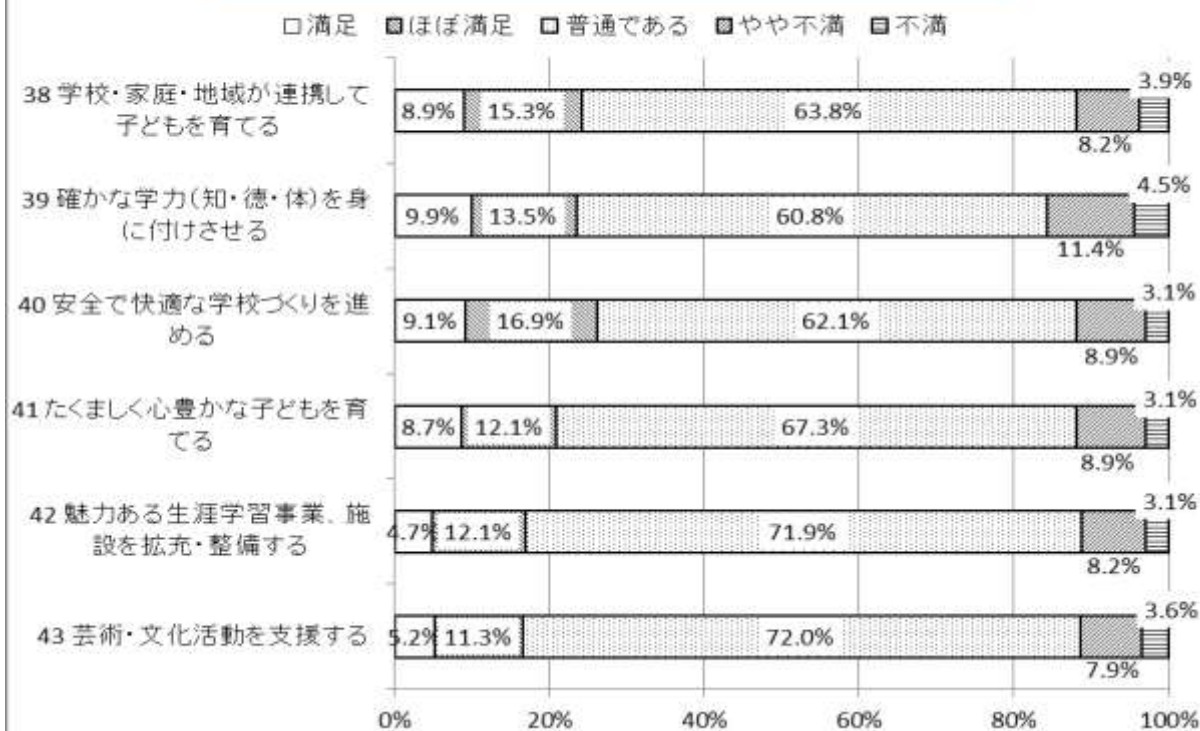
政策6 活力ある産業が育つまち



政策7 便利で快適なひとにやさしいまち

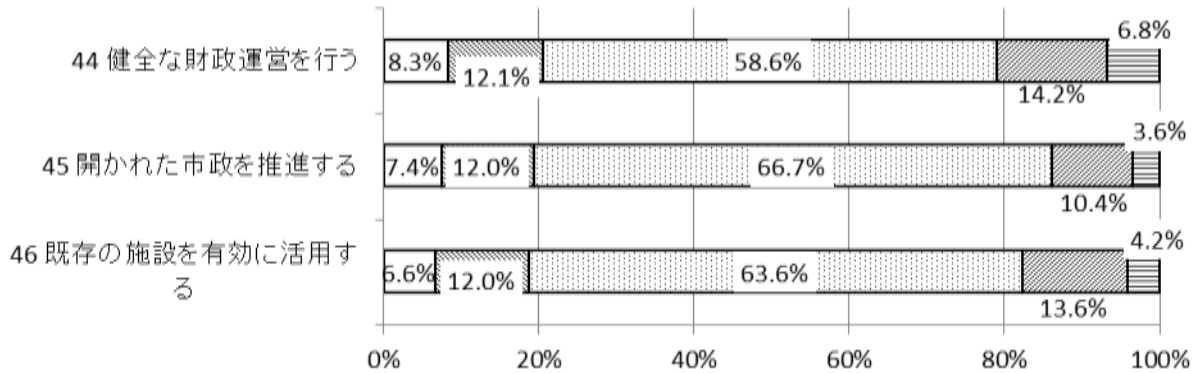


政策8 地域に根ざした教育・文化のまち



政策 9 効率的でわかりやすい行財政

□満足 ■ほぼ満足 □普通である ■やや不満 □不満



リーディング・プロジェクト

□満足 ■ほぼ満足 □普通である ■やや不満 □不満

